

【米田主宰の俳句】

シナモンロール

米田規子

夏蝶のワルツ右脳を喜ばす
入道雲B4出口に辿り着き
片蔭に身を細くして大都会
夏の少女よ黒髪のやや重く
この街の空に親しみ立葵
緑蔭に散らばり詩人らしくなる
のび放題の夏草とのっぽビル
たそがれて曲り胡瓜のひと袋
スカートに絡む海風晩夏かな
香りよきシナモンロール秋隣